

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	心理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 月曜1,2時限	教室名	大教室
担 当 教 員	竹花正剛	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>ヒトの心とは何か、心はどこにあるのか、心理学は「心を理解する科学である」が、心は意識であり、脳であり、行動でもある。1年生が初めて心理学といった学問に触れるわけであり、本講義は「心理学入門」といったスタンスから、脳—心—行動の図式に従って発展してきた心理学について概観する。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料						
《授業外における学習方法》						
授業終了後に配布したPPT資料を復習						
《履修に当たっての留意点》						
心理学という心を探る科学は、常に客観的な数量化されたデータに基づいて、正しい判断、理解ができる。臨床検査でも同様である。本講義を通して、ヒトへの理解を深めるとともに、科学的な視点で事象を分析できるスキルを身につけてほしい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	心の発生について理解できる。	PC及びプロジェクター	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習	
	各コマにおける授業予定	心とは何か、心は意識であり、行動であり、脳である。心はどのようにして進化してきたかについて、社会的知能や心の理論といった側面から考察する①				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	心の発生について理解できる。	PC及びプロジェクター	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習	
	各コマにおける授業予定	心とは何か、心は意識であり、行動であり、脳である。心はどのようにして進化してきたかについて、社会的知能や心の理論といった側面から考察する②				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	心をコントロールする脳について理解できる。	PC及びプロジェクター	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習	
	各コマにおける授業予定	感情に焦点を当てながら、喜怒哀楽の感情をコントロールする領域が脳であり、前頭葉が感情のコントロールに大きく関与していることや脳の仕組みや大脳半球の役割について学習する①				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	心をコントロールする脳について理解できる。	PC及びプロジェクター	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習	
	各コマにおける授業予定	感情に焦点を当てながら、喜怒哀楽の感情をコントロールする領域が脳であり、前頭葉が感情のコントロールに大きく関与していることや脳の仕組みや大脳半球の役割について学習する②				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	成熟する脳と行動発達について理解できる。	PC及びプロジェクター	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習	
	各コマにおける授業予定	乳児の原始反射や運動機能の発達を概観し、親子の絆や愛着に焦点を当てながら、共感、共同注意の発達が心の発達に大きく関与してくることを学習する①				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	成熟する脳と行動発達について理解できる。	PC及びプロジェクト	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習
	各コマにおける授業予定	乳児の原始反射や運動機能の発達を概観し、親子の絆や愛着に焦点を当てながら、共感、共同注意の発達が心の発達に大きく関与してくることを学習する②			
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	学習する脳について理解できる。	PC及びプロジェクト	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習
	各コマにおける授業予定	学習心理学、行動主義の発展といった観点から、ワトソン、ソーンダイク、ケーラー、パプロフ、スキナーの研究を概観しながら、脳科学における学習の個人差についても言及する①			
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	学習する脳について理解できる。	PC及びプロジェクト	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習
	各コマにおける授業予定	学習心理学、行動主義の発展といった観点から、ワトソン、ソーンダイク、ケーラー、パプロフ、スキナーの研究を概観しながら、脳科学における学習の個人差についても言及する②			
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	知覚の世界について理解できる。	PC及びプロジェクト	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習
	各コマにおける授業予定	視覚、聴覚、味覚の神経伝達経路についての基礎と脳がいかにだまされるかという、錯覚、錯視の世界について、実体験をしながらその原理について学習する①			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	知覚の世界について理解できる。	PC及びプロジェクト	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習
	各コマにおける授業予定	視覚、聴覚、味覚の神経伝達経路についての基礎と脳がいかにだまされるかという、錯覚、錯視の世界について、実体験をしながらその原理について学習する②			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	記憶とは何かについて理解できる	PC及びプロジェクト	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習
	各コマにおける授業予定	記憶のメカニズムの基礎を学びながら、イディオサバンと呼ばれる人たちの驚異的な記憶について、さらに霊長類のコミュニケーションとしての図形語の研究、認知症の記憶障害について学ぶ①			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	記憶とは何かについて理解できる	PC及びプロジェクト	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習
	各コマにおける授業予定	記憶のメカニズムの基礎を学びながら、イディオサバンと呼ばれる人たちの驚異的な記憶について、さらに霊長類のコミュニケーションとしての図形語の研究、認知症の記憶障害について学ぶ②			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康とストレスについて理解できる。	PC及びプロジェクト	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習
	各コマにおける授業予定	ストレスとストレスラーについての生理的、心理的ストレスモデルを学びながら、生活習慣病とストレスとの関係について、心理的・医学的見地から具体的に概観すると同時に予防・対処法についても学ぶ①			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康とストレスについて理解できる。	PC及びプロジェクト	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習
	各コマにおける授業予定	ストレスとストレスラーについての生理的、心理的ストレスモデルを学びながら、生活習慣病とストレスとの関係について、心理的・医学的見地から具体的に概観すると同時に予防・対処法についても学ぶ②			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	アニマルセラピーについて理解できる。	PC及びプロジェクト	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習
	各コマにおける授業予定	ヒトと動物の絆、ヒューマン・アニマル・ボンドに焦点を当て、ペットがヒトの心理的、生理的、社会的健康にいかに関与するのかについて、具体例を通して概観する①			

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	心理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時限	前期 月曜1.2時限	教室名	大教室
担当教員	竹花正剛	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>ヒトの心とは何か、心はどこにあるのか、心理学は「心を理解する科学である」が、心は意識であり、脳であり、行動でもある。1年生が初めて心理学といった学問に触れるわけであり、本講義は「心理学入門」といったスタンスから、脳-心-行動の図式に従って発展してきた心理学について概観する。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>学期末試験(100%)</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>配布資料</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>授業終了後に配布したPPT資料を復習</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>心理学という心を探る科学は、常に客観的な数量化されたデータに基づいて、正しい判断、理解ができる。臨床検査でも同様である。本講義を通して、ヒトへの理解を深めるとともに、科学的な視点で事象を分析できるスキルを身につけてほしい。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	アニマルセラピーについて理解できる。		PC及びプロジェクター	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習	
	各コマにおける授業予定	ヒトと動物の絆、ヒューマン・アニマル・ボンドに焦点を当て、ペットがヒトの心理的、生理的、社会的健康にいかに関与するのかについて、具体例を通して概観する②				
第17回	授業を通じての到達目標	自閉の世界について理解できる。		PC及びプロジェクター	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習	
	各コマにおける授業予定	発達障害の中でも、自閉症、広汎性発達障害の特性について紹介しながら、心の発達とは何か、共感とは何か、対人関係の社会性の障害とは何かについて学習する①				
第18回	授業を通じての到達目標	自閉の世界について理解できる。		PC及びプロジェクター	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習	
	各コマにおける授業予定	発達障害の中でも、自閉症、広汎性発達障害の特性について紹介しながら、心の発達とは何か、共感とは何か、対人関係の社会性の障害とは何かについて学習する②				
第19回	授業を通じての到達目標	心理学のテーマである心について理解できる。		PC及びプロジェクター	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習	
	各コマにおける授業予定	本講義の最初の命題である「心の発生」とは何か、これまでの講義を振り返りながら、再考する①				
第20回	授業を通じての到達目標	心理学のテーマである心について理解できる。		PC及びプロジェクター	授業内で学んだことと気づきについて配布資料に基づき復習	
	各コマにおける授業予定	本講義の最初の命題である「心の発生」とは何か、これまでの講義を振り返りながら、再考する②				